

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要など一部で持ち直しの動きが見られたものの、円高の長期化、欧州の財政問題、中国をはじめ新興国経済の成長鈍化などを背景に先行きに対する減速感が強まりました。

当社グループ関連の市場環境につきましては、自動車関連市場ではエコカー減税や補助金などに支えられ国内自動車生産は堅調に推移しました。また、塗料関連市場では省エネ関連製品を中心に需要が回復してまいりました。

このような状況のもと、当社グループでは、新製品開発や新規顧客の開拓など販売活動を展開するとともに、原価低減や生産効率の向上などに取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は163億4千万円（前年同期比13.1%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益は3億1千1百万円（前年同期比345.4%増）、経常利益は主として持分法による投資利益により9億3千1百万円（前年同期比189.0%増）、四半期純利益は7億4千3百万円（前年同期比111.4%増）となりました。

セグメント別の業績の状況は次のとおりであります。

#### ① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、生産の効率化と省エネ対策など環境対応型塗料を主力に売上の拡販に取り組みました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料は前年同期比7.1%、防水用塗料は前年同期比10.2%と増加しました。また、工事関連売上高は、集合住宅大規模改修工事の受注拡大により前年同期比26.8%と大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は、65億6千8百万円（前年同期比8.3%増）セグメント利益は1億9千8百万円（前年同期比38.7%増）となりました。

## ② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、カーメーカーにおける国内自動車生産台数の増加に伴って前年同期実績を大きく上回りました。

品種別売上高につきましては、防錆塗料は前年同期比39.9%、制振材は前年同期比25.3%、吸・遮音材は前年同期比11.8%とそれぞれ増加しました。一方、海外向け材料輸出等のその他売上は前年同期比△5.9%と減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は97億6千5百万円（前年同期比16.5%増）、セグメント利益は1億1千万円（前年同期は7千5百万円のセグメント損失）となりました。

## ③ その他

保険代理業の売上高は6百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

（注）各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高消去後の数値を記載しております。

## (2) 財政状態の分析

### ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億1千5百万円減少し、371億8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少8億7千8百万円、受取手形及び売掛金の減少2億3千1百万円、有形固定資産の減少1億8千万円、投資有価証券の増加4億2千3百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億7千3百万円減少し、176億7千1百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少6億6千6百万円、借入金の減少6億8千1百万円、未払法人税等の減少1億5千万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億5千7百万円増加し、194億3千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加6億1千万円、その他有価証券評価差額金の減少1億6千7百万円、為替換算調整勘定の増加9千7百万円によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億1千4百万円減少し、36億5千6百万円となりました。

営業活動による資金は、6億2千6百万円の収入（前年同期比4億1千4百万円増加）となりました。この主な要因は、減価償却費7億3千1百万円、仕入債務の減少6億6千6百万円、利息及び配当金の受取額4億1千9百万円によるものです。

投資活動による資金は、7億1千1百万円の支出（前年同期比4千5百万円増加）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出4億8千8百万円、関係会社株式の取得による支出2億3千5百万円によるものです。

財務活動による資金は、8億1千8百万円の支出（前年同期比2億1千5百万円増加）となりました。この主な要因は、長期借入による収入22億7千万円、長期借入金の返済による支出28億7千8百万円、配当金の支払額1億3千2百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は5億5千4百万円であります。

(5) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい増減はありません。

(7) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。